

【道路の植栽について】

提案① 閑上の新しい魅力となる路線別の植栽(名称:〇〇通り)

➤ 各幹線路別に四季を感じさせる植栽を行ない、路線毎に特徴を出す。

提案② 嵩上げにより出来る法面の有効活用

➤ 来訪者や県道を通る人への閑上地区を印象づけるため、嵩上げによりできる法面を、閑上の観光PRに活用し、花桃やつつじ・芝桜などで植栽し、夜間はライトアップするなど工夫する。

提案③ 居住区と道路の境を植栽で区切る

➤ プライバシー重視を図りつつ可視化による地域の防犯・見守りに繋げる。

提案④ 緑の空間を総合的に設計し、新たな空間価値を創造する

➤ 閑上港線南側の植樹帯を法面側に移動し、歩道スペースを有効活用する。
 ➤ 歩道ベンチ脇に落葉樹を採用する事で、冬は日当たり良く、夏は木陰になる等快適性を向上させる。

